

市制施行61周年・文化の日 合併5周年記念式典

11月3日、「市制施行61周年・文化の日 合併5周年記念式典」が教育文化センターで開催されました。

今年の式典では、各分野で活躍し永年市政に貢献された市民功労の2人をはじめ、80人、18団体が表彰され、工藤市長から表彰状と記念品が手渡されました。

ここでは、表彰を受けた皆さんを紹介します。



市 民 功 労

文化功労表彰

金子 昌司氏

功労の事績

氏は、書を中心とした芸術文化活動の振興に努めるとともに、社会教育・生涯学習事業の企画運営と実践を通じて、本市の教育文化の向上に大きな貢献を果たしています。

県北地域を代表する書の第一人者である氏は、県北美術展での知事賞の受賞をはじめ、埼玉県美術展覧会では3年連続で特別賞を受賞するなど、数々の賞を受賞し、その芸術性の高さが認められています。

県北美術展や埼玉県美術展覧会では、審査員としても活躍するとともに、昭和63年から平成5年まで埼玉県書道人連盟常任理事、平成6年から平成9年まで埼玉県書道人連盟副理事長兼事務総局長として、埼玉県書道界の発展のために尽力しました。

また、平成6年から現在まで行田市書道人連盟会長として、行田市書道界をけん引するとともに、平成10年度から開催されている「公募行田市美術展」の立ち上げに中心となって尽力し、2期4年間実行委員長を務めるなど、その発展に努め、書、絵画、工芸、写真の4分野の総合発表の場として、広く市民に芸術鑑賞の機会を提供し、市民の文化の高揚を図ってきました。

そのほか、平成3年4月から5年間、社会教育指導員として、平成10年4月から10年間、地域公民館長として、温厚で誠実な人柄や持ち前の優れた識見と行動力をもって、地域の住民との太いきずなのもと、本市の生涯学習の推進に大きな役割を果たしました。

さらに、平成14年5月から現在まで文化財保護審議会委員として、豊富な学識経験を生かし、本市の文化財の保護に大いに貢献しています。



自治功労表彰

関口 宣夫氏

功労の事績

氏は、昭和58年に行田市議会議員に初当選し、以来6期24年間の永きにわたり市議会議員として地方自治の振興発展に努めるとともに、市民の声を市政に反映することに全力を傾注しました。市議会議員在職中は、議長および副議長をはじめ、議会運営委員会委員長、建設常任委員会委員長および総務常任委員会委員長の要職を歴任するほか、総合振興計画審議会委員、都市計画審議会委員、水道事業運営審議会委員などの審議会委員ならびに監査委員および農業委員会委員を務めるなど、豊富な識見と誠実な人柄をもって、市政の発展に大きく貢献しました。さらに、市議会議長在職中には、全国市議会議長会理事、関東市議会議長会副会長および埼玉縣市議会議長会会長の要職を務め、地方自治の拡充強化に奔走しました。

また、荒川北縁水防事務組合議会議員、忍領利根川水防事務組合議会議員や彩北広域清掃組合議会議員などを務め、市域を超えた広域行政による事業運営に寄与しました。

そのほか、医療保健推進委員会委員、大学誘致推進委員会委員、荒川左岸北部流域下水道事業推進協議会委員、交通安全対策協議会委員、国道125号バイパス建設促進期成同盟会委員、武蔵水路改築対策委員会委員などを歴任し、市民福祉の向上や都市基盤の充実に尽力しました。

そして、地方分権とまちづくりの重要性を深く理解し、市町村合併問題にいち早く取り組み、持ち前の行動力をもって周辺自治体に働き掛けを行い、平成18年1月1日の南河原村との合併に大きな役割を果たしました。

